

出張報告書

平成 29 年 12 月 7 日

市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 米田貴志

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 全国都市問題参加の為
- 2 出張先 沖縄県立武道館
- 3 出張期間 平成 29 年 11 月 9 日～平成 29 年 11 月 10 日
- 4 出張者氏名 米田貴志・岩崎雅秋・桑原佳一・友永修・南加代
- 5 てん末報告 別紙のとおり

ひとがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略

—新しい風をつかむまちづくり—

パネルディスカッションにおいて、沖縄文化芸術振興アドバイザー平田大一氏のトークには魅力を感じた。全ての物事においては、まずは価値をうまなくてはならないものである。しかしながら、価値観においては人それぞれ違うように、価値観の捉え方も違うであろう。

行政は政策を立案し予算をたてるしくみづくり・・・ピッチャー役
各外郭団体はその政策を市民につなげる・・・キャッチャー役
と例える事ができる。考えるに、ここで大事なことは投げる球が市民にとり価値をうむ政策なのか又、内容は情報発信されているのか、しっかりとみていく体制が重要だと感じた。つなぐという言葉はよく使われるが、政策案内人としての行政のジョイントリーダーが必要であり、それを発信するパイプ役が私達の役目であると痛切に感じた次第である。感動立国おきなわをめざす本気度が、平田氏からは

どんどん伝わってきた。文化・スポーツに対して、達成感に対する感動が生み出す力これが、ひとづくり産業なんだと実感もした。こ

れからが研修会に参加しての価値観を生みだせるかを自分に問うところである。地域の舞台を地域の方とともに創る自身であろう。